

2024年5月31日

「2023 マイハピネス フォトコンテスト」入賞作品決定！

～累計応募数は162万点を突破～

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 永島 英器）は、2023年9月～2024年1月に募集した「2023 マイハピネス フォトコンテスト」の入賞作品を決定しました。

1. 累計応募数は162万点を突破

1999年の第1回開催以来、25回目を迎える当コンテストは、「あなたがいる しあわせ。」をテーマに、家族や友人、恋人等との身近にある“しあわせな瞬間（とき）”を撮影した写真を募集する国内最大級のフォトコンテストです。今回は、107,283点のご応募をいただき、累計応募数が162万点を超えました。

2. 入賞作品246点を決定！ グランプリ作品は「笑いが止まらない！」

写真家の織作 峰子氏や柳瀬 桐人氏らによる厳正な審査の結果、グランプリ作品「笑いが止まらない！」（後藤 恵梨香さま・岐阜県）をはじめとする、入賞作品246点を決定しました。うち150点は、全国各地の支社が選定する「支社特別賞」となります。入賞作品や表彰項目の詳細は、公式ホームページよりご覧ください。

3. 企業イメージCM最新作を制作中

小田和正さんの歌に乗せ、本コンテスト作品をスライドショー形式でつづっていく、企業イメージCMの最新作を2024年夏ごろに放映予定です。小田和正さんの優しく透き通った歌声が、写真の魅力をさらに際立たせるCM作品にご期待ください。

4. コンテスト名称を変更

次回フォトコンテスト募集開始時から、ブランド通称「明治安田」を用いたコンテスト名称といたします。

明治安田 しあわせフォトコン

◆フォトコンテスト公式ホームページ

<https://www.my-happiness.com>

◆企業イメージCM／明治安田公式ホームページ

<https://www.meijiyasuda.co.jp/enjoy/cm/>

◆ブランド通称「明治安田」について

https://www.meijiyasuda.co.jp/profile/news/release/2023/pdf/20240116_01.pdf

以上

【ご照会先】

広報部 広報グループ TEL 03-3283-8054

明治安田生命保険相互会社 〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1

ひとに健康を、まちに元気を。

みんなの
健活
プロジェクト



【「2023 マイハピネス フォトコンテスト」の概要】

<テーマ>

「あなたがいる しあわせ。」

<応募期間>

2023年9月1日(金)

～2024年1月31日(水)



柳瀬氏（写真左）と織作氏（写真右）

<応募数>

総応募数：107,283点

内訳 ■プリント応募：1,947点

（うちMYリンクコーディネーター等を通じた応募245点）

■パソコンもしくはスマートフォン応募：100,777点

（うちMYリンクコーディネーター等を通じた応募6,257点）

■Instagram 応募：4,559点

—審査風景—

<審査員プロフィール>

織作 峰子（おりさく みねこ）氏：写真家。石川県出身。

1982年より写真家・大竹省二氏に師事。1987年独立。世界各国の風景や人物を、女性らしい視点でとらえ続け、国内外で写真展を多数実施。2018年・2021年には銀座・和光ホール（現 セイコーハウスホール）にて展覧会を開催。海外政府観光局から依頼された撮影のほか、テレビ・雑誌、講演でも幅広く活躍中。（公社）日本広告写真家協会業務執行常務理事。大阪芸術大学教授。

柳瀬 桐人（やなせ きりと）氏：写真家。大分県出身。

各企業のポスターや、新聞・雑誌等の広告写真を中心に活動。最近では資源ゴミを現代アートとしてとらえた作品を、美術館などで発表。また、写真教室の講師や写真クラブの顧問等でアマチュアの指導を精力的に行なっている。（公社）日本広告写真家協会会員、（公社）日本写真協会会員、日本写真芸術学会会員。

<総評>

身近にある「しあわせの瞬間(とき)」に気づき、チャンスを逃さない。
時代が変わっても、良い写真の本質は変わりません。

世の中が平常に戻りつつあるからでしょうか、今年は応募数が大幅に増えました。大変うれしいことです。特に多かった30代の方々は、これからのコンテストを支え、受け継ぐ新しい世代への道標になってくださることと期待しています。一方で次代を担う若者たちが、被写体としても撮影者としても減っているのが気がかりです。写真を撮ることや撮られることが日常になっている時代です。コンテストだからといって気負わず構えず、気軽に応募していただきたいと思います。

フォトコンテストの常として、過去の入賞作品の影響を受けて、それと同じような状況や構図の作品が増える傾向があります。日々の生活のなかにあるのに見過ごしている「自分だけのしあわせの瞬間(とき)」がきっとあるはず。それをみつけだして、見る人に新たな感動を与えていただきたいと思います。

ライフスタイルが変化したり、技術が進化しようとも、心動かされる写真の本質は変わりません。

一枚の写真から、人それぞれが持つ魅力や誰かを思う愛情が伝わってくる。そんな作品をお待ちしております。

織作 峰子

<グランプリ作品のご紹介>



「笑いが止まらない！」 後藤 恵梨香さま（岐阜県中津川市）

ふたりをきれいに照らす半逆光を効果的に活用し、露出補正によって、優しい光に包まれたすばらしい作品に仕上がっています。キッチンだと分かる程度に背景をボカしたことで、人物に目がいきます。屈託のない笑顔がいいですね。その場の空気が生き生きと伝わってきます。

（講評：織作 峰子氏）